

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成27年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(飯田建設事務所)
指定管理者	株式会社 うるぎホープ

1 施設名等

施設名	長野県南信州広域公園	住所	長野県下伊那郡売木村2653-3
		電話	0260-28-2455
		ホームページ	http://www.hoshinomori.jp/

2 施設の概要

設置年月	平成11年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	オートキャンプ場 テントサイト(個別サイト、キャラバンサイト、フリーサイト)、キャビン、大型キャビン、センターハウス 芝生広場、大型木製遊具、展望台、遊歩道 開園面積:53.8ha		
利用料金	有料施設:テントサイト、キャビン、会議室(施設により料金は異なる。)		
開所日	水曜日(水曜日が休日に当たるときは木曜日)、休日の翌日、12月1日から翌年4月第3土曜日の前日までを除く毎日		
開所時間	8:00～21:00(宿泊有の場合)		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	みなみ信州農業協同組合
平成18年度～20年度	指定管理	みなみ信州農業協同組合
平成21年度～23年度	指定管理	株式会社 うるぎホープ

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	株式会社 うるぎホープ	指定期間	平成24年4月1日～29年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1者)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成27年度(A)	平成26年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
26,912 千円	27,221 千円	△ 309 千円	
	増減理由	経費縮減による支出の削減	

6 指定管理者が行う業務

都市公園等(備品を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務 オートキャンプ場の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度(A)	539	2,785	997	4,007	8,693	3,579	2,342	1,063					24,005
平成26年度(B)	896	2,238	830	4,086	7,793	3,051	1,724	1,174		冬季休業			21,792
(A)/(B)	60.2	124.4	120.1	98.1	111.5	117.3	135.8	90.5					110.2
増減要因等	平成27年度はここ数年にない連休(G.W.およびシルバーウィーク)の多い年で、利用者が大幅増となった。前年度の平成26年度は、夏期の天候不順による長雨で利用者的大幅減であった為、顕著となった。												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度(A)	977	3,910	1,540	6,465	12,460	5,137	3,628	2,025					36,142
平成26年度(B)	1,484	3,353	1,314	6,131	11,587	4,618	2,662	2,151		冬季休業			33,300
(A)/(B)	65.8	116.6	117.2	105.4	107.5	111.2	136.3	94.1					108.5
増減要因等	平成27年度は連泊日程に恵まれ、5月、9月で特に収入増。前年度の平成26年度が夏期の天候不順による収入減であった為、顕著となった。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成27年度(A): 209日	平成27年度(A): 8:00~21:00(宿泊有の場合)	無	
平成26年度(B): 209日	平成26年度(B): 8:00~21:00(宿泊有の場合)		

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウイーク及び夏期シーズン限定で、村営日帰り入浴施設への利用者搬送サービスを6年目継続実施し、前年比より多くの利用人数(1,226人)を搬送した。 ・平成26年度、参加人数を増加させたイベント開催は、27年度さらに積極的に開催し、前年比4%増の参加人数となり、サービスの向上に努めた。

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・利用増に伴い問題となってきている芝生の枯死に対し、平成25年度より芝生の補植を集中的に3か年連続で実施し、27年度は約500㎡、3か年合計で約1,800㎡の芝草替を実施した。夏の稼働により再び損傷が見られるので、引き続き今年度も継続して実施する予定。 ・老朽化の進む修繕を積極的に実施した(建物外壁塗装、看板の取替え等)。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等の為、展望台、遊具の一部で利用できない箇所があり、改善してもらいたい。⇒平成27年度夏前にまでに展望台、遊具の一部が修繕完了。 ・混雑日のチェックイン待ち時間を短くしてもらいたい。⇒混雑日の対応について再考し、スムーズな受入としたい。 ・夜間の騒ぐ行為に対する対応をお願いしたい。⇒夜間の巡回注意を強化して実施中である。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書の内容に沿った維持管理に努めた。利用頻度に応じた清掃及び夜の巡回、設備点検等の複数回実施を心掛けた。	・協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	高需要期の利用予約のとりにくさ、利便性を向上させるため、一部期間のキャンサイトの利用枠については、予約申込後の抽選制度を継続して実施。これまで8月のお盆付近日程のみであったが、ゴールデンウイークについても追加して実施。また利用機会をより多くの方への目的で、利用数上限枠を設けて受入を行った。	・抽選制により、平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。	A
利用者サービス向上の取組	・サイト内環境整備のため芝生の補植を昨年度に続き大規模で実施。 ・テント宿泊利用者向けの「テント乾燥・宅配サービス」が以前にもまして利用が増加、一方でレポート利用促進のため会員サービスの特典拡充を検討するなど、サービス向上を検討したい。	・サービス向上に向けて、柔軟な取り組みで対応していることは評価できる。	A
自主事業	・トレーラータイプの利用施設も供用3年目となり、利用者への周知に伴い順調に利用数を伸ばしている。さらに付帯サービスを充実させる試みを実施し、継続して広報していきたい。 ・近年減少傾向にあるイベント実施回数を積極的に増やした。	・創意工夫された自主事業が実施されており、施設の設置目的に寄与している。	B
職員・管理体制	・常勤職員6名、非常勤3名。 ・常勤職員の対応業務向上に取り組みつつ、要員体制の均一化を図ることを重要課題として試みている。いずれにせよ、冬季閉園期間の職員配置が依然として課題である。	・仕様書及び事業計画書に基づく職員配置が行われており、繁忙期には柔軟な対応をしている。	B
収支状況	全体収入83,329千円に対し、支出79,108千円。利用者増に伴い収入増及びに支出増となったが、収支バランスを堅持。さらに要員体制の見直し(冬季)と、老朽化度合により突発的な経費の執行対応が求められる。	・利用料収入の増加と経費削減の努力は評価できる。引き続き、多彩な自主事業の実施等を通じ、施設の提供のみではない、特色ある公園サービスの提供を目指していただきたい。	A
総合評価	平成27年度は、ここ数年で最も連休日が多い年であったことが幸いし、多くの方に利用していただけた。さらに受入体制の充実強化と、外部への広報活動を活性化させ、さらに満足度の高い施設へと転換していくことが必要である。	・仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。	A

＜評価区分＞ A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より課題となっている施設面の老朽化対策について昨年度より遊具、利用者に直結する箇所である建物(外壁・屋根塗装など)について修繕が実施されつつある。反面、利用提供するサイトの芝生手入れなど、まだまだ改善措置が追いついていない現状である。さらに今後予想される突発的な大規模修繕に対応できるような準備金制度を設ける必要性を強く感じる。 ・従事職員の育成、冬季閉園期間中の雇用確保が課題である。今後10年程度の長期的な展望を踏まえ公園全体の方向性を考えることが重要であり、従事する職員ほか公園関係者が本公園に望まれているサービスの向上と施設づくりについて情報交換する機会を重ね、これに基づいた施設整備・維持管理に心掛けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕等が必要な箇所については、実態を踏まえて計画的に対応していきたい。 ・本公園に望まれているサービスの向上と施設づくりについての情報交換を公園関係者で定期的に行い、サービス向上に努めたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:平成26年11月17日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
・立地的なことからか県外利用が大半を占めており、県民利用の向上が求められること、また周辺の観光施設への経済効果を示すなど、県営公園としてその存在意義についても意識し説明できるように。	公園来訪者の実態把握に努めると共に、県内への広報促進、また村内および周辺町村の観光施設の利用度について調査し、その経済効果についても把握する試みを検討し、実施していきたい。	・県民利用の向上が図られるよう、県のホームページ等を通じて、PRIに努めていきたい。
・アンケートを宿泊者以外の公園への日帰り利用者も含めて幅広く実施することにより利用者満足度を把握することが必要である。 ・広報についてSNS等を利用した効率的な情報発信の促進、および幅広く利用者からの意見聴取に心掛ける必要あり。	平成27年度末に待望のホームページの更新を実施。より画像を取り入れることにより、わかりやすい施設案内に努めた。幅広く利用者の声を集約すべくweb上でのアンケート取組を開始した。	・幅広く利用者の意見が聞けるよう、アンケート方法等を工夫し、ニーズを把握し、利用者の満足度向上に努めていただきたい。
・トレーラーハウスの導入など自主事業についてもさらに積極的に行うとともに、イベント開催回数を増やし、内容の充実を図られたい。	昨年度よりイベント実施回数を若干増やして開催し、参加人数も増加。さらに継続して夏季シーズン以外にもイベントを積極的に実施計画し、集客に結びつけたい。	・自主事業を積極的に行い、公園利用者の増加に努力していただきたい。